

# DOCUMENT TRANSMISSION METHOD AND DOCUMENT PROCESSOR FOR REALIZING THE METHOD

Publication number: JP11134263

Publication date: 1999-05-21

Inventor: ENDO TOMOAKI

Applicant: CANON KK

Classification:

- international: G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04L29/06;  
H04N1/00; H04N1/32; G06F13/00; H04L12/54;  
H04L12/58; H04L29/06; H04N1/00; H04N1/32; (IPC1-  
7); G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04L29/06;  
H04N1/00; H04N1/32

- european:

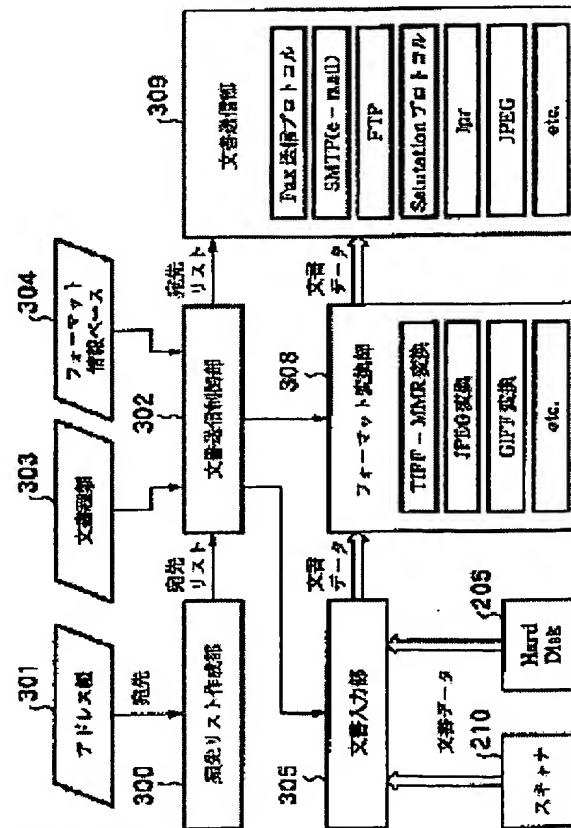
Application number: JP19970294661 19971027

Priority number(s): JP19970294661 19971027

[Report a data error here](#)

## Abstract of JP11134263

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a document transmission method for transmitting en bloc a document to the plural destinations of plural transmission methods by different document formats and a document processor for realizing the method. **SOLUTION:** The transmission methods requested for respective transmission destinations and the plural document formats corresponding to the kind of the document are respectively stored (301) in correspondence. When a transmission document (305), the kind (303) of the document and the plural transmission destinations (300) are instructed the instructed plural transmission destinations are classified for the respective transmission destination for which the same document format is requested and the transmission destinations provided with the same transmission method are classified from the transmission destinations for which the same format is request (302). The result of the format conversion of one time is shared for the same document format (308) and the transmission document is continuously transmitted to the transmission destinations provided with the same transmission method (309).





して、文書の種類に応じた文書フォーマットをそれぞれ記述する記述情報を使用して、該送信文書を前記指示された文書の種類に対応したフォーマットに変換することを特徴とする請求項2・3記載の記述媒体。

【請求項25】 同じ文書フォーマットが要求されていける送信局先ごとに、前記指示された複数の送信局先を分

01 ファクシミリ回線およびネットワーク回線による文書転送装置において、  
送信先ごとに要求される送信方法と文書フォーマットを記憶する記憶手段と、  
複数の送信先を指示する指示手段と、

モジュールを更有し、前記文書送信モジュールは、同じ文書フォーマットについては1回のフォーマット変換の結果を共有し、同じ送信方法を有する送信宛先には連絡して送信文書を送信す

【問題項2.6】複数の送信宛先ごとに要求される送信方法と文書フォーマットなどをそれぞれが必ずして記憶し、更に、送信宛先に対応して、文部省の種類に応じた文書フォーマットをそれぞれ配信する記憶情報を有するこ

〔発明の詳細な説明〕  
【0001】【発明の属する技術分野】本発明は文書送信方法及び該方法を実現する文書処理装置に関するものである。  
【発明の問題点】本発明は、特に送信方式の異なる複数の宛先に文書を送信する文書送信方法及び該方

この分類手段と、同じ文書フォーマットについては1回送信先宛てを記入し、  
その分類手段と同時に送信方法を有する送信先宛てを記入し、  
前記指示された複数の送信先宛てを記入し、  
前記指示された複数の送信先宛てを記入する。

【0002】 【從来技術】 電子メールシステム、リモートファイルシステム、リモートデータベース、リモートプリントなどな  
どにネットワークを介して接続され、又アカウントリモートを通じて他の装置に接続され文書処理装置から、電  
線を介して他の装置に接続する。リモートファイルシステムは、リモートデータベース、リモートプリント等の

先には逆説として送信文書を送信することを特徴とし、先に2.1節の文書処理装置。

試験項20または21に該当する。

3.1 フクシミリ回線およびネットワーク

3.1.1 メール送信やファイル転送などの複数の送信機能を有するプログラムをコンピュータ駆動して、送信機能であつて

トデータベース、リモートプリンタなどの複数の送信方式による複数の受信者、およびファクシミリ回線を通して接続された複数の受信者に対して、1つの文書を送信する場合には、送信に使用するネットワークプロトコルによる規定、または文書が送られる環境による規定、また受信側の要望、機能、性能によって送信される文書を受け取る側の要望、機能、性能によって送信される文書

のフォーマットが異なるために、ユーティリティが文書のフォーマットを適宜変換しながらそれぞれの先対にして送信を行う必要があるため、1回の送信指⽰で文書の送信を行なうことはできなかつた。

[0003] 又、同じフォーマットで送信が可能な最先が複数ある場合に、先対ごとに必要なフォーマットに変

换了していでのでは、同じ変換を複数回行う可能性もあり効率が悪いという問題がある。更に、受信側が複数の文書フォーマットを受信可能な場合に、テキスト・カラーブラックなどの文書の種類に応じて文書フォーマットを決定したいという要求もある。

[0004]

が指示された場合に、更に、送信宛先に対する

発明が解決しようとしている課題」について、本発明



11

12

13

14

タやプログラムが含まれており、文書送信プログラム(205a)が押されると、宛先リストが表示される。アドレス帳(301)から指定された宛先をピックアップして作成された宛先リストは、図5で示されるように、宛先・送信方法・文書フォーマットが記載されている。図5は、宛先リストの内容の構成例を示す図である。

【0020】(206)はキーが押されると、押下されたキーの情報をCPU(201)へ伝達する。キーボード上の1つのキーはドキュメント送信を指示するためのスタートキー(206a)として使用される。(207)はCRTなどのディスプレイ装置であり、データを表示する。(208)はネットワーク・インターフェースであり、このインターフェースを介してネットワーク(107)に接続される。(209)はファックスモデムであり、ファックスモデムを通してファクシミリ回線(106)に接続される。(210)はスキャナであり文書の読み込みを行う。(211)はシステムバスであり、上述の構成要素間のデータの通路となるべきものである。

【0021】本装置は、基本I/Oプログラム、OS、及び文書送信プログラムモジュール群をCPU(201)が実行することにより動作する。基本I/OプログラムはROM(202)に書き込まれており、OSはHDドライブ(205)に書き込まれている。そして、本システムが起動する際に、基本I/Oプログラム中のIPL(イニシャルブロードロードイング)機能によりHDドライブ(205)からOSがRAM(203)に読み込まれ、OSの動作が開始される。

【0022】図3は、本実施の態の文書処理装置の機能構成例を示す構造図である。尚、図3の各機能部の機能は、HDドライブ(205)上のCPU(201)で実行される。CPU(201)は、HDドライブ(205)と接続された作成部(300)は、アドレス帳(301)から指定された宛先の項目をコピーすることにより送信宛先のリストを作成する。アドレス帳には、図4で示すように、宛先ごとに指定された文書フォーマットが送信方式・宛先と共に記載されている。尚、宛先はキー・ボード(206)から入力されても良い。

【0023】図4は、アドレス帳(301)の内容の構成例を示す図である。アドレス帳には、宛先のアドレス(401)、送信方法(402)、文書の種類ごとに使用される文書フォーマット(テキストの時のフォーマット(403)、白黒の時のフォーマット(404)、カラーの時のフォーマット(405))が、宛先ごとに記述されており、情報ベース(406)の1つに該当するものである。アドレス帳(301)による分類は、文書フォーマットによって文書を分類する。文書フォーマットを有する宛先毎にまとめてフォーマット変換を指示し、文書送信部(309)に対しては、更に通信方法による分類に従って、共通の通信方法の宛先毎にまとめて送信を指示する。

【0024】文書送信部(302)は、文書入力部(305)に文書入力先(スキャナ(201)またはハードディスク(205))を指定した上で、文書の入力を指示する。入力された文書は文書入力部(305)により入力文書領域(203a)等に一時的に保持される。文書の入力が完了すると、文書

送信制御部(302)は、分類した宛先リストに従って、フォーマット変換部(308)に対して文書フォーマットの形式を与え、変換を指示する。フォーマット変換部(308)は、入力された文書データを指定された文書フォーマットに変換する。

【0025】文書の変換が完了すると、文書送信制御部(302)は、文書データをフォーマット変換部(308)から文書送信部(309)に転送する。文書送信部(309)には、変換された文書フォーマットを使用する宛先リストが与えられる。図8に、図7のように分類された宛先リストから、文書送信部(309)に与えられる宛先リストの例を示す。

【0031】図8の(a)は、フォーマット変換部(308)でJPEG対応の文書データを送信する場合(309)に指す宛先リストである。図8の(b)は、フォーマット変換部(308)でJPEG対応の文書データを送信する場合(309)からシステム情報ベース(304)からの情報が使用される。図8の(c)は、文書送信部(309)に指す宛先リストである。

【0032】文書送信部(309)は入力された文書データを指定された送信方式で指定された宛先に送信する。宛先リストに含まれる全ての文書送信が終了したのちに、文書送信部(302)は、文書入力部(305)およびフォーマット変換部(308)に一時的に保持されている文書データを指す。

<本実施の態の文書処理装置の処理手順例>

(第1の處理手順例) 図9は、スタートキー(206a)が押され、文書送信部(302)が指定された宛先リスト内の全ての文書の種類ごとに送信する。文書送信部(302)に与えられたからの文書送信制御部の動作を表すフローチャートである。

【0033】ステップS701で、入力された宛先を1つ読み込む。ステップS702で、指定された文書の種類に相当する文書フォーマットが指定されているかどうかを検査する。文書フォーマットが指定されていない宛先に關して、ステップS703で、デフォルト文書フォーマット情報ベース(304)の情報と指定された文書の種類から文書フォーマットを特定し、宛先リストに書き加える。ステップS704ではステップS701に戻り次の宛先を読み込み、ステップS701までを宛先リスト内の全ての宛先について繰り返す。

【0034】(第2の處理手順例) 前記第1の處理手順例では、宛先リストを分類した後に文書を入力し、順次必要な文書フォーマットに変換して送信を行っていたが、フォーマット変換部(308)および文書送信部(309)が終了した後に、ステップS716でフォーマット変換部で一時保持されている文書データの削除を指示し、文書の送信処理を終了する。

【0038】(第3の處理手順例) 前記第1の処理手順例では、宛先リストを分類した後に文書を入力し、順次必要な文書フォーマットが指定されているかどうかを検査する。文書フォーマットが指定されていない宛先に關して、ステップS703で、デフォルト文書フォーマット情報ベース(304)の情報と指定された文書の種類から文書フォーマットを特定し、宛先リストに書き加える。ステップS704ではステップS701までを宛先リスト内の全ての宛先について繰り返す。

【0039】図10を参照して、第2の処理手順例を説明する。図10は、スタートキー(206a)が押され、宛先リスト・文書の種類が文書送信制御部(302)に与えられてからの文書送信制御部の動作を表すフローチャートである。ステップS801で、入力された宛先を読み込む。

【0040】(第4の處理手順例) 前記第3の処理手順例では、JPGの文書フォーマットが、email1とメール送信プロトコル(fw)に分類されている。ステップS803において、同じ文書フォーマットを使用する複数の宛先を送信方法をキーとして宛先を分類する。(图7の例では、JPGの文書フォーマットが、email1とメール送信プロトコル(fw)に分類されている)。

【0041】(第5の處理手順例) 前記第4の処理手順例においては、文書入力部(305)に文書の入力が完了すると、文書

書領域(203a)に一時的に保持される。ステップS705においては、入力された文書を、分類された宛先リストの最初の宛先が必要とする文書フォーマットを指定し、フォーマット変換部(308)に文書データを指定する。

【0042】文書の変換が完了すると、フォーマット変換部(308)が变换された文書データを示す。文書データはオーバーライド(送信文書領域(203d))において一時的に保持される。ステップS710において、変換された文書データを指定する。ステップS712で文書データを指定した最後のフォーマットがステップS705で分類された最後のフォーマット変換を指示する。

【0043】文書の変換が完了すると、文書送信制御部(302)は、文書データをフォーマット変換部(308)から文書送信部(309)に転送する。文書送信部(309)には、変換された文書フォーマットを使用する宛先リストが与えられる。図8に、図7のように分類された宛先リストから、文書送信部(309)に与えられる宛先リストの例を示す。

【0046】(a)は、文書データを送信する場合(309)に指す宛先リストである。図8の(b)は、フォーマット変換部(308)でJPEG対応の文書データを送信する場合(309)に指す宛先リストである。図8の(c)は、文書データを送信する場合(309)からシステム情報ベース(304)からの情報が使用される。図8の(d)は、文書データを送信する場合(309)に指す宛先リストである。

【0047】文書送信部(309)は入力された文書データを指定された送信方式で指定された宛先に送信する。宛先リストに含まれる全ての文書送信が終了したのちに、文書送信部(302)は、文書入力部(305)およびフォーマット変換部(308)で指定された文書データを指す。文書送信部(309)が終了した後、ステップS716でフォーマット変換部で一時保持されている文書データの削除を指示し、文書の送信処理を終了する。

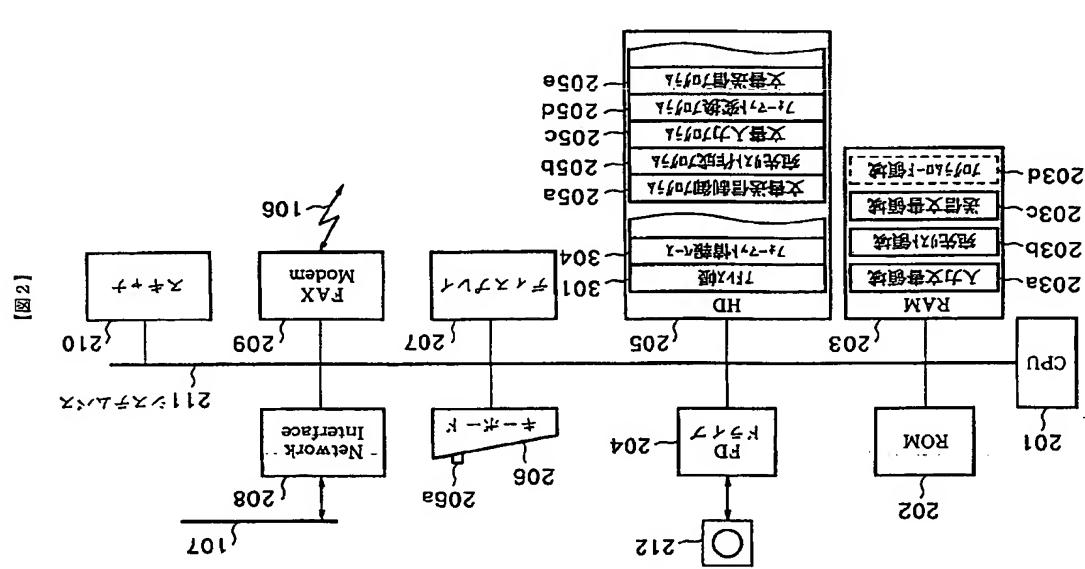
【0048】(第2の処理手順例) 前記第1の処理手順例では、宛先リストを分類した後に文書を入力し、順次必要な文書フォーマットが指定されているかどうかを検査する。文書フォーマットが指定されていない宛先に關して、ステップS703で、デフォルト文書フォーマット情報ベース(304)の情報と指定された文書の種類から文書フォーマットを特定し、宛先リストに書き加える。ステップS704ではステップS701に戻り次の宛先を読み込み、ステップS701までを宛先リスト内の全ての宛先について繰り返す。

【0049】図11を参照して、第2の処理手順例を説明する。図11は、スタートキー(206a)が押され、宛先リスト・文書の種類が文書送信制御部(302)に与えられてからの文書送信制御部の動作を表すフローチャートである。ステップS801で、入力された宛先を読み込む。

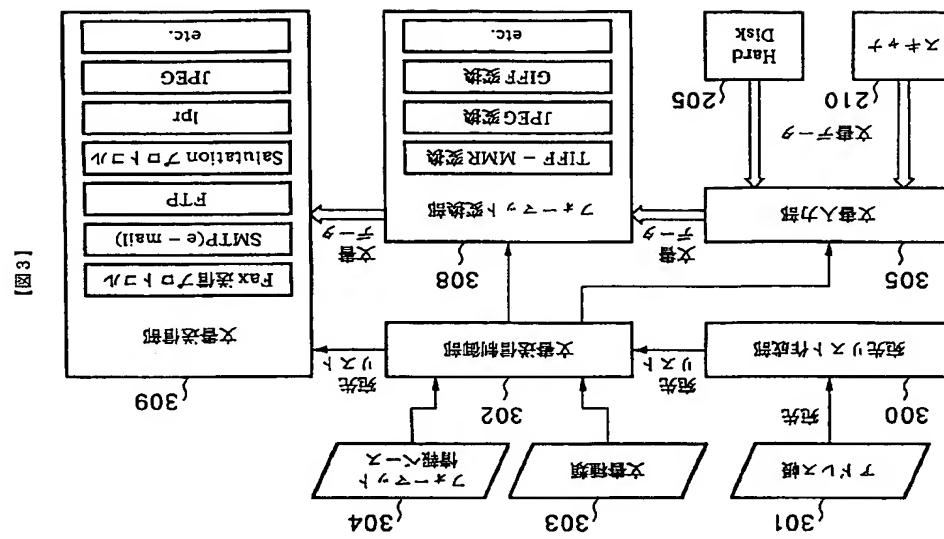
【0050】(第3の処理手順例) 前記第2の処理手順例では、JPGの文書フォーマットが、email1とメール送信プロトコル(fw)に分類されている。

【0051】(第4の処理手順例) 前記第3の処理手順例においては、文書入力部(305)に文書の入力が完了すると、文書





三



[図8]

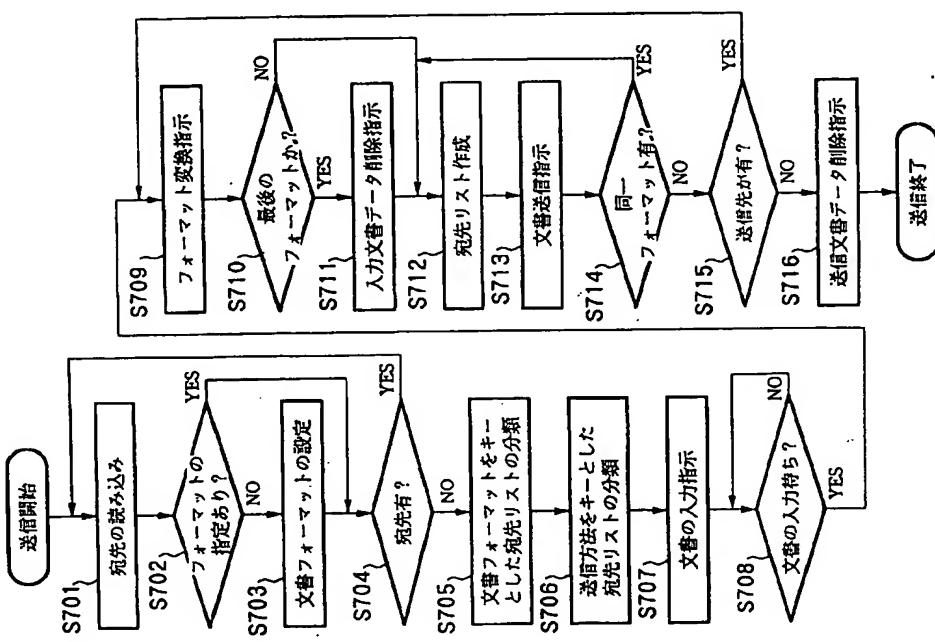
801a	802a	1100	1101	1201
宛先アドレス	送信方法	基本I/Oプログラム	4リヌーム情報	
abc@cd.cgi.lm	• - mail		アレクトリ情報	
ver@cd.cgi.lm	• - mail			
		CS		1202
		1102		
		1103	文書送信プログラム 実行ファイル	1203
		1104	文書選別プログラム 選別データファイル	1204
		1105		

(a) (b)

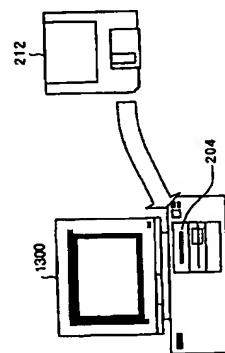
[図1.2]

801b	802b	1200	1201
宛先アドレス	送信方法	基本I/Oプログラム	4リヌーム情報
1001mlm/aclvdef	fb	abc@cd.cgi.lm	アレクトリ情報
		ver@cd.cgi.lm	
		CS	
		1102	
		1103	文書送信プログラム モリール
		1104	文書選別プログラム 選別データファイル
		1105	

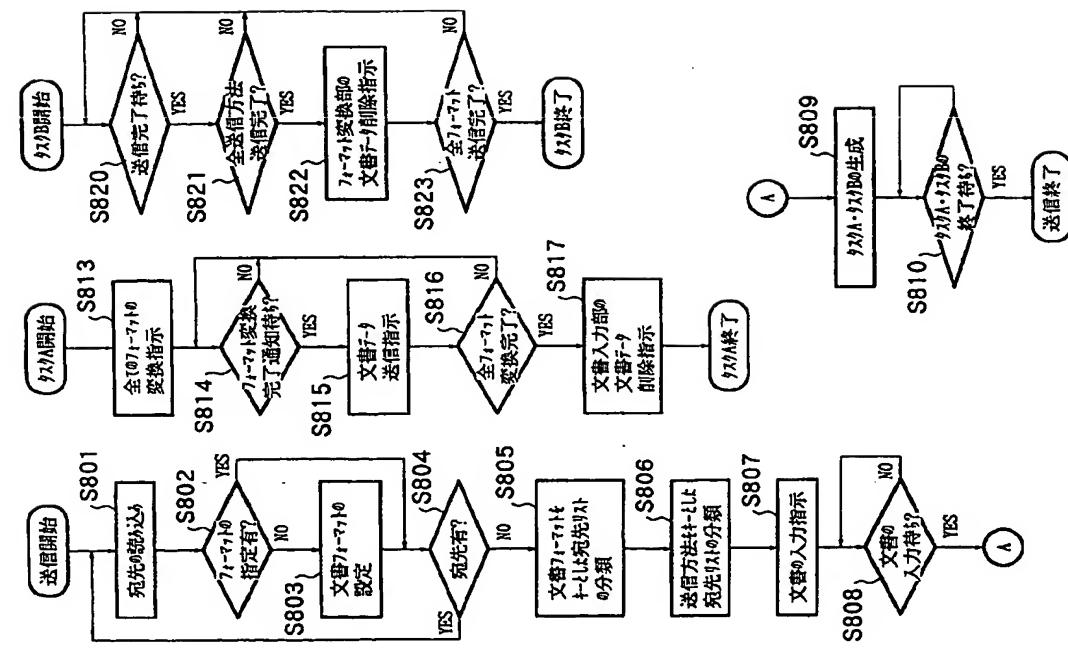
[図9]



[図1.3]



【図10】



フロントページの書き

